

総合的な探究の時間の第1の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学校の教育目標

校訓「至誠、勤勉、協和」の精神を徹底させ、心身共に調和のとれた人間形成を図るとともに、地域社会に貢献できる学校づくりを目指す。

各学校で定める目標と育成する資質・能力

- 1 至誠を貫き、勤勉かつ規範意識が高く、社会変化に柔軟に対応でき、基本的な生活習慣を身に付けるとともに、社会的自立ができる人財
- 2 生活をとおしてよりよい人間関係を形成し、課題解決に向け主体的にチャレンジできる人財
- 3 地域社会や産業界等と協力し合い、生涯にわたって郷土を愛し、自ら学び続けることのできる人財

総合的な探究の時間の学習評価

- 1 現状・特徴・問題を理解するだけでなく、情報を多面的に捉え、自分の考えを具体化し、他者との比較・分類や構造化・抽象化など、探究の過程に応じた技能を身に付けることができる。
- 2 設定課題の応じた情報を集め整理・分析し、その考察内容をまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的に表現することができる。
- 3 自分を理解すると共に他者を理解し、実社会・実生活の問題解決に取り組み、積極的に地域の活動に参加することができる。

生徒の実態

各学年1クラスの少人数であることから、一人一人が自分に合った形で学校生活を送ることができている。学習面では、解くスピードや難易度の差はあるが、最後まで諦めずに取り組む姿勢が目立っている。課題として、主体的に物事に取り組む姿勢が乏しいため、探究を通じ、自ら率先して物事に取り組めるようにしていきたい。

生徒の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする生徒への指導

- ・読解や識字に配慮を要する生徒については、ICT機器の活用や個別対応を行い、周囲と同内容を進められるようにする。
- ・まとめる力や、発言を苦手とする生徒については、ICT機器を使用したグループワークの展開を実施し、間接的に自己意見を発表できるようにする。
- ・グループワークやさまざまな発表をとおし、自己肯定感を高めさせていけるようにする。

目指す生徒の姿

- 1 社会変化に対して柔軟に対応ができ、基本的な生活習慣を身に付け規範意識が高く、社会的な自立ができる。
- 2 様々な生活を通じてよりよい人間関係を形成し、仲間と協力して課題解決に向け主体的にチャレンジができる。
- 3 地域社会や産業界と密接に協力し合い、生涯にわたって郷土を愛し、自ら学び続けることができる。

各学校が定める内容（目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力

<1学年>

【探究課題】

- ・「よりよい人間関係を構築するために」
- ・「身近な事象から実生活への学びにつなげよう」

【資質・能力】

・コミュニケーション能力及び公共心、公德心、ICT機器活用による情報収集、整理・分析力の育成を目指す。

<2学年>

【探究課題】

- ・「城里町が抱える地域課題について考えよう」
- ・「国際平和のために私たちができることとは何か？」

【資質・能力】

・コミュニケーション能力及び社会性・協調性の育成、設定課題に対する正確な情報の収集、整理・分析力の向上を目指す。

<3学年>

【探究課題】

- ・「自分と向き合い自分にできる社会貢献について考えよう」
- ・「社会人になるために必要なこと～権利と責任とは何か？～」

【資質・能力】

・社会を多面的に捉える力や、自分の考えを分かりやすく相手に伝えることのできるプレゼンテーション力の育成を目指す。

学習活動、指導方法等

<1学年>

【学習活動】

- ・外部講師によるマナー演習、コミュニケーション演習の実施
- ・地域の課題や身近なニュースから実生活に生かせることを見つけてみよう。

【指導方法】

- ・スモールステップに基づく目標設定とその達成状況の確認
- ・グループワークによる協働活動とポートフォリオによる思考の可視化

<2学年>

【学習活動】

- ・地域活性化を目的とした体験活動に参加
- ・平和学習をテーマとした資料収集及び社会参画意識の育成

【指導方法】

- ・プレゼンテーション能力の向上を図る発表機会の充実
- ・グループワークによる協働活動とポートフォリオによる思考の可視化

<3学年>

【学習活動】

- ・成人をテーマとした自分と社会の関わり方の探究
- ・外部講師による進路ガイダンスの実施

【指導方法】

- ・プレゼンテーション能力の向上を図る発表機会の充実
- ・グループワークによる協働活動とポートフォリオによる思考の可視化

指導体制（環境整備、家庭・地域との連携）

○地域との連携

城里町役場のまちづくり戦略課をとおして、地域に住むさまざまな年代、職種の方を学校に招き、長年地域で取り組まれていることや地域課題などを説明いただき、生徒たちの探究学習の基礎的内容を補完する。

○外部組織との連携

株式会社さんぼう、ハッシュダイ、JICA、睡眠カウンセラー、その他各種講師などと連携し、講演会をはじめ、各種学校行事、学年行事への協力を賜り、生徒にとって多面的な視点や考え方を養う機会とする。